

この春、私は大学を卒業し社会人となります。自然の豊かさ、人の温かさ、住みややすさを日々感じるこの下諏訪町で、私は二十二年間過ごしてきました。あつという間に過ぎってしまったように感じますが、私にとってはとても充実した学生生活を送ることができました。自然が豊かだからこそのできた、アマゴの放流をした小学生時代。地元農家の耕作地で年間を通して一緒に作業を手伝い、野菜栽培について生きた知恵を学んだ中学生時代。三角八丁や地域連携事業にスタッフとして参加した高校生時代。どれをとっても、この下諏訪町ならではの活動で



地域の縁の下の力持ちになる

東町上 小口 絵里加

あり、今の私があるのもそれらができる環境がある地域のおかげだと感じています。大学では経済学を学ぶと共に、地域研究のゼミナールに所属していました。講義形式で学ぶ授業とは別に、ゼミナールではフィールドワーク（現地調査）をメインとして調査対象の地域に自ら足を運び調査しました。調査すること、その地域ならではの良さが発見でき、また、自身の暮らしている地域の良さについても改めて感じることができました。そしてフィールドワークをすることで、その地域の多くの大人と関わる機会がありました。そのときに私は、地域の縁の下の力持ちの存在になれる仕事に就きたいと思うようになりまし

願いをかたちに



櫻咲く四月、希望に胸がふくらむ新学期を迎えました。今年の下諏訪町の小学校入学児童数は百六十八名です。どの子どもにとっても大事な子、大きく優しくたくましく育って欲しいと願わずにはいられません。

「めざせ元気なしもすわっ子」

毎年、子どもたちは入学式後のインタビューに応じて「算数や国語をがんばりたい」「友だちをいっぱい作りたい」と、これから始まるうとする学校生活に大きな期待を寄せています。「環境が人を作る」と言われますが、こういった子どもたちの願いを叶えていくためには学校・家庭・地域が一体となり、子どもが育つ望ましい環境作りを進めていかななくてはならないと思います。家庭用リーフレット「めざせ元気なしもすわっ子」我が家の約束六項目は、こうした環境作りを進めていくための目安

教育長 小沢 貞義

生涯学習

No.479

かおり高い文化のまち

として、一昨年、町内の子どもたち（保育園児、小学生、中学生）や保護者向けに作られたものです。

配布から一年半、取り組みの状況について、これまでに寄せられた子どもや保護者の声を紹介します。

家庭の役割として一番多かったのは、保小中共に「食事時の食器の準備や片付け」でした。また、テレビ・ゲームでは「見ない日・やらない日を決めている」とか「見たい番組や時間を決めてみる」といった声が多く

各項目別にみた小学校の結果

「出来ている」割合

① 自らすすんで挨拶	94%
② 家庭学習	92%
③ 家庭読書	78%
④ 早寝早起き朝ご飯	81%
⑤ お手伝い	80%
⑥ テレビ・ゲームのけじめ	58%

豊かな心と創造力を持ち、将来社会に貢献できる子どもの育成は、こうした日常の温かい家庭生活に裏打ちされた確かな人間力を基盤として成されていくものであるように思います。無限の可能性を秘めたこの子らの夢や願いの実現に向けて、共に手を携え歩んで参りましょう。

テレビ・ゲームに課題はあるものの、保護者や中学生からは、家庭のルールや生活習慣を見直すよいきっかけになっていくという声がかれました。



4月からはこのように働くのかな...

めとして太鼓祭りや諏訪よいてこなど、それぞれの町や市で行われるお祭りに参加して諏訪地域についてもっと知り、同時に住民の皆さんと盛り上げていきたいです。

四月からは社会人になります。日々の業務を確実に、諏訪地域を金融面から支えることが求められます。これからは今まで以上に多くの困難があると思います。しかしどんなときでも、感謝と自分らしさを忘れずに日々努力していきたいです。

発行 下諏訪町教育委員会
編集 生涯学習編集委員会

〒393-8501 長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
E-mail=syougai@town.shimosuwa.lg.jp